

⑥小・中学校の学校図書館

学校図書館では、授業だけでなく読書週間などの行事を通して、読書に親しむきっかけを作っている。そのなかで子ども自身が本をすすめたり、読みあうことで、読書の楽しさを伝え合う活動を行っている。

小学校図書館

庄内南小学校では、毎年5月の休み時間に図書委員会の児童が1年生を誘いに行き、図書館で一緒に本を読んであげる「としょかんにおいでよ！」という取り組みをしている。入学間もない1年生は、休み時間に図書館で過ごせることを教えてもらい、図書委員会のお兄さんお姉さんと楽しそうに本を読んでいる。



6月の1週間を「読書週間」、10月の1ヶ月間を「^{しょうなん}庄南bookフェス(読書月間)」とし、図書委員会と協力して様々な取り組みを行っている。

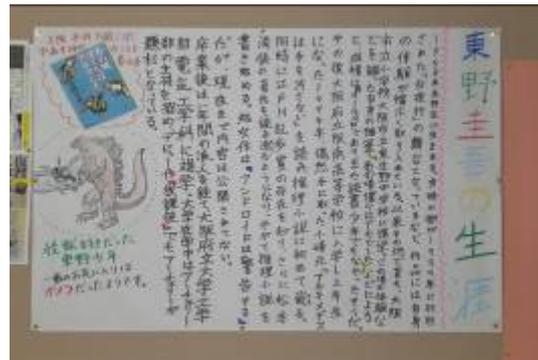
読書週間には、図書委員会の児童たちが多目的ホールで大型絵本の読み聞かせを行う。

庄南 book フェスでは、分類ビンゴやしおりコンクール、各学年の「^よ読ん^だ棚」を行っている。「読ん棚」とは、読み終えた本の題名を紙に書き、各学年の「読ん棚」に貼っていくもので、自分の学年の棚をいっぱいにと、児童たちも頑張っており取り組んでいる。



中学校図書館

第一中学校では毎年秋に図書委員会が主催する読書週間の行事を行っている。08年度は「一中図書館まつり」のネーミングで一中学生を図書館に誘う活動を行った。活動の内容は毎年少しずつ違うが、掲示物を作って作家の紹介をしたり、しおり作りを行ったりしている。08年の秋はテレビドラマ「ガリレオシリーズ」が話題となっていて生徒の関心も高かったため委員会で相談し、2年生が「大阪出身の作家・東野圭吾の生い立ち」や以前に出版された作品を紹介する掲示物を作ってアピールする活動を行った。



また、3年生は08年12月に千里図書館で講演会が予定されていた作家香月日輪作品に注目し、中学生に人気の「妖怪アパートの幽雅な日常」シリーズに関連させて「妖怪・魔法・ふしぎ」をテーマに掲示物を作成したり、全校生に配布する特集版の図書だよりを作ったりした。図書館内でもその期間中はテーマに合わせた図書の展示を行った。1年生は毎年行っている「オリジナルしおり」作りを担当した。図書委員が材料を準備して作り方をアドバイスする。休み時間に図書館に来た生徒は自分のアイデアで材料を組み合わせてしおり作りを楽しんだ。



関連する取り組みの番号 7 9 子どもの読書活動への取り組み 8 2 読書活動の推進